

# アネスト岩田株式会社 2024年3月期 決算補足説明資料

2024年5月9日

東証プライム市場 機械

証券コード6381

## 1. 2024年3月期の実績

- 海外売上が牽引し、連結売上高は前期比+10.1%で増収、連結営業利益は+5.8%で増益
- 連結売上高及び各段階の連結利益が過去最高を更新
- 中国の塗装機器並びに塗装設備を除き、すべてのエリア及び製品で売上が伸長
- 期末配当は、配当予想通り1株当たり27円とし、年間配当は49円を予定(前年度比11円増配)

## 2. 2025年3月期の計画

- 米州やインドを中心とした海外収益の拡大により、増収増益を目指す
- 連結営業利益では人件費の増加や積極的な成長投資の継続を見込むも売上増加にてカバーを計画
- 営業外収益(為替差益)の減少により、経常利益は減益予想
- 配当は、年間配当50円を予定

塗装設備や中国内販売は需要縮小も、中国SCR社の輸出販売や欧州の塗装機器などが牽引して売上は伸長。圧縮機は、売上拡大に向けた投資継続やリスク管理強化に伴うコスト増が利益を下押し

(百万円)

売上高	53,425	
	エアエナジー 33,286 (62.3%)	コーティング 20,139 (37.7%)
営業利益	6,176	
	エアエナジー 3,357 (54.4%)	コーティング 2,818 (45.6%)

単位 (百万円)	エアエナジー事業			コーティング事業		
	2024年3月期	前年同期比		2024年3月期	前年同期比	
	実績	増減	増減率(%)	実績	増減	増減率(%)
売上高	33,286	+3,936	+13.4	20,139	+974	+5.1
営業利益	3,357	+88	+2.7	2,818	+249	+9.7
営業利益率(%)	10.1	-1.1pts	—	14.0	+0.6pts	—

- 圧縮機は、中国SCR社の輸出販売が年度を通じて好調に推移。そのほか、日本や欧州などにおいてオイルフリー圧縮機の売上が伸長
- 真空機器は、アメリカにおいて事業の一部を譲受けた効果や装置メーカーの取込みにより売上が伸長。そのほかのエリアでも堅調に推移。

- 塗装機器は、中国国内の需要縮小も、欧州の自動車補修市場向けスプレーガンをはじめ、特に北米で木工塗装向け機器の販売を伸ばしたことで売上は増加。
- 塗装設備は、設備投資の停滞による受注案件の減少や一部お客様の工事計画の遅延が発生したことなどにより売上は減少。

(注)1.事業別営業利益は当社グループ独自の基準により算定。  
 2.日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結決算は3か月の期ズレが発生。  
 3.製品別利益率のイメージ:真空機器>塗装機器>圧縮機>塗装設備

## 前中期経営計画から進めてきた事業戦略の奏功により、売上高及び各利益指標において過去最高実績を更新

- 売上高は、海外市場(特に欧州及びインドを主としたその他のエリア)が牽引。為替の影響は+1,679百万円
- 人件費や成長投資の継続、設備投資前倒しに伴う減価償却費の増加などにより、営業利益の伸び率は売上に比べて緩やか
- 米国持分法関連会社の車両搭載向け圧縮機の販売好調に伴う持分法投資利益や為替差益の伸長が経常利益の増加に貢献

	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比			2024年3月期業績予想 11月9日修正	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化(pts)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	48,515	—	53,425	—	+4,910	+10.1	—	52,900	101.0
営業利益	5,838	12.0	6,176	11.6	+338	+5.8	-0.5	6,100	101.2
経常利益	7,043	14.5	7,986	14.9	+942	+13.4	+0.4	7,700	103.7
親会社株主 帰属純利益	4,381	9.0	4,931	9.2	+549	+12.5	+0.2	4,600	107.2
平均為替レート 円/米ドル	131.43 円		140.56 円		9.13 円 円安			138.00 円	
平均為替レート 円/ユーロ	138.04 円		152.00 円		13.96 円 円安			149.00 円	
平均為替レート 円/人民元	19.48 円		19.82 円		0.34 円 円安			19.60 円	
<b>年間配当</b>	<b>38 円</b>		<b>49 円(予定)</b>		<b>11 円 増配</b>			<b>45 円</b>	

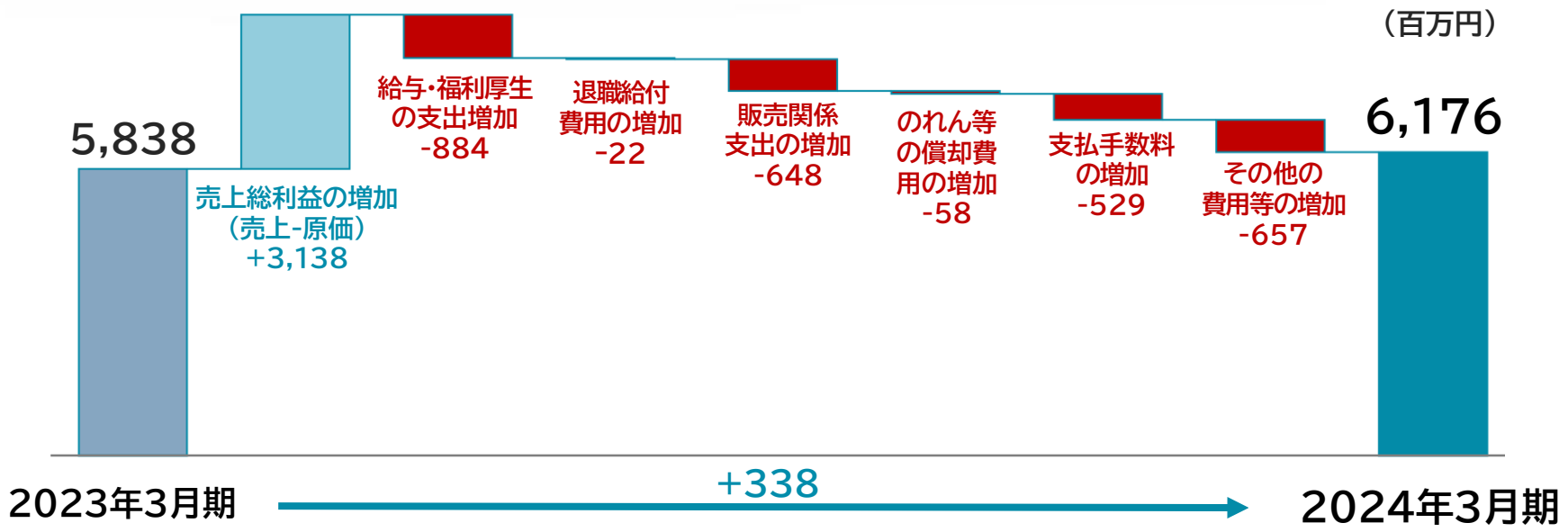
【為替の感応度について】営業利益ベースによる傾向値(下記にて通貨割合は反映されておられません)  
1円の円安にて、米ドル:10百万円/年、ユーロ:10百万円/年、人民元:30百万円/年、それぞれ増加

中国内販売は景気減速で需要縮小も、そのほかの海外市場での売上伸長や円安効果により予想を上回り着地

(百万円)	業績予想	実績	差異
売上高	52,900	53,425	+525 +1.0%
-エアエナジー	32,500	33,286	+786 +2.4%
-コーティング	20,400	20,139	-261 -1.3%
営業利益	6,100	6,176	+76 +1.2%
-エアエナジー	3,380	3,357	-23 -0.7%
-コーティング	2,720	2,818	+98 +3.6%
経常利益	7,700	7,987	+287 +3.7%
親会社株主 帰属純利益	4,600	4,931	+331 +7.2%

- [+] 海外売上伸長による為替(円安進行)の影響 ※世界最大級の産業展示会
- [+] 国内外での値上げの実施による商品単価の上昇
- エアエナジー
  - [+] 圧縮機:中国SCR社のドイツ・ハノーバーハーメッセ※への出展効果などによる輸出販売の拡大。ブラジルの車両搭載向け圧縮機の販路開拓。
  - [+] 真空:1Qに事業の一部譲受で獲得したアメリカ販路の活用
- コーティング
  - [-] 塗装機器:グループ販売体制の見直しに伴う日本での一部スプレーガンの販売中止
  - [-] 塗装設備:特に中国における設備投資意欲の減退などによる受注減
- [+] 増収効果による売上総利益の増加
- [+] 値上げ浸透に伴う原価率の改善
- [-] 新規事業開拓など中長期的な業績拡大施策に対する支払い手数料の増加
- [-] 海外を中心とした人件費や広告宣伝費及び旅費交通費による費用増加
- [+] アメリカの関係会社における継続した売上の伸長に伴う持分法利益の増加
- [-] 連結子会社の業績伸長に伴う非支配株主に帰属する当期純利益比率の増加
- [-] 当初想定を上回る損失の発生

人件費上昇や成長投資の実施に伴い販売管理費増加も、増収効果や売上原価率の低下により増益で着地



累計	原価率 (%)	販売管理費率 (%)
2023年3月期4Q	56.0	31.9
2024年3月期1Q	54.4	35.2
2Q	55.1	33.8
3Q	54.8	33.7
4Q	54.2	34.3

**[+] 売上総利益の増加:前年同期比 +3,138百万円**

- 売上高の増加( 同 +4,910百万円)
- 国内外の値上げ効果や上半期における塗装設備の原価率改善に伴う利益の増加
- 売上総利益への為替影響額は+741百万円

**[-] 販売管理費の増加:前年同期比 +2,800百万円**

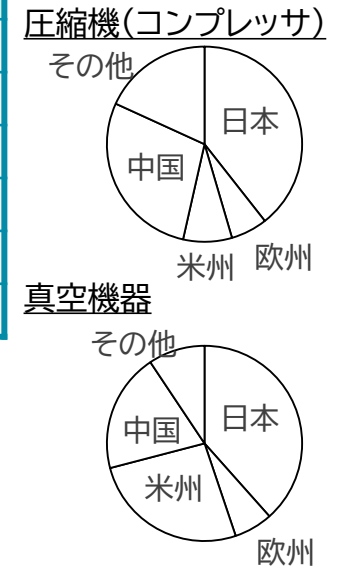
- 欧米を中心としたすべてのエリアにおいて人件費が上昇
- ERPクラウド化や営業改革、税法改正への対応によるシステム設計費用(支払手数料)の増加
- 新規事業開拓やM&A検討など中長期的な業績拡大に向けた施策の継続に伴う支払手数料の増加
- 営業活動の活発化により、旅費交通費や国内外展示会の出展などに伴う広告宣伝費といった活動費用が増加

# セグメント別・製品別売上高(エアエナジー事業)

【セグメント区分】その他:中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ 【前年同期比】◎ 10%~ ○ 3%~10% △ 0%~3% ▽ 0%~-3% ● -3%~10% × -10%~

連結売上高	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比		エアエナジー事業	
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)	圧縮機	真空機器
日本	17,473	36.0	18,207	34.1	+734	+4.2	○	◎
欧州	7,233	14.9	8,663	16.2	+1,430	+19.8	◎	◎
米州	5,863	12.1	6,862	12.8	+999	+17.0	◎	◎
中国	10,336	21.3	11,419	21.4	+1,083	+10.5	◎	◎
その他	7,608	15.7	8,273	15.5	+665	+8.7	○	◎
合計	48,515	—	53,425	—	+4,910	+10.1	◎	◎
圧縮機製品	26,983	55.6	30,302	56.7	+3,318	+12.3		
真空機器製品	2,366	4.9	2,983	5.6	+617	+26.1		
エアエナジー事業	29,349	60.5	33,286	62.3	+3,936	+13.4		

【各製品におけるセグメント別売上構成比のイメージ】



## 輸出を中心とした中国SCR社の売上好調をはじめとして、エアエナジーは全セグメントで売上が伸長

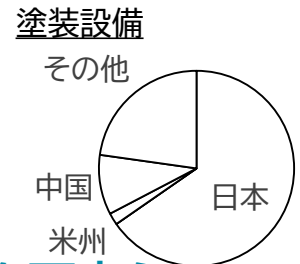
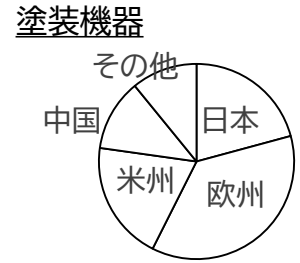
日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (圧縮機)供給面で汎用圧縮機を主とした年度末の需要に応えたことや医療分野を含むセットメーカー向けオイルフリー圧縮機などの売上伸長</li> <li>■ (真空)半導体市場の調整局面が継続する中でも、輸出を含めた半導体製造関連装置向け真空ポンプの売上が増加</li> </ul>
欧州	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (圧縮機)OEM先の需要動向からオイルフリー圧縮機の売上が堅調に推移</li> <li>■ (圧縮機)特定市場を主とした販路の開拓を継続</li> <li>■ (真空)東欧をはじめとした販路開拓の成果</li> </ul>
米州	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (圧縮機)アメリカやブラジルにおける車両搭載向け及び医療向け圧縮機の売上が伸長</li> <li>■ (真空)1Qに事業の一部譲受によって取得した販路における売上が堅調</li> <li>■ (真空)装置メーカー向け需要が拡大</li> </ul>
中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (圧縮機)SCR社の輸出販売が好調</li> <li>■ (圧縮機)リチウムイオン電池製造関連装置向け圧縮機の販売が堅調に推移</li> <li>■ (真空)リチウムイオン電池製造関連装置向け真空ポンプの売上が伸長</li> <li>■ (真空)新たな装置メーカー開拓も継続</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (圧縮機)インドにおいて、汎用圧縮機が好調に推移</li> <li>■ (圧縮機)東南アジア子会社及び現地代理店の営業員教育を継続</li> <li>■ (真空)韓国のFPD(フラットパネルディスプレイ)製造関連装置向けが活況</li> <li>■ (真空)台湾では、半導体製造関連向けの需要が回復</li> </ul>

# セグメント別・製品別売上高(コーティング事業)

【セグメント区分】その他:中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ 【前年同期比】◎ 10%~ ○ 3%~10% △ 0%~3% ▽ 0%~-3% ● -3%~10% × -10%~

連結売上高	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比		コーティング事業	
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)	塗装機器	塗装設備
日本	17,473	36.0	18,207	34.1	+734	+4.2	○	×
欧州	7,233	14.9	8,663	16.2	+1,430	+19.8	◎	-
米州	5,863	12.1	6,862	12.8	+999	+17.0	○	◎
中国	10,336	21.3	11,419	21.4	+1,083	+10.5	▽	×
その他	7,608	15.7	8,273	15.5	+665	+8.7	△	◎
合計	48,515	—	53,425	—	+4,910	+10.1	○	×
塗装機器製品	16,512	34.0	17,851	33.4	+1,338	+8.1		
塗装設備製品	2,652	5.5	2,288	4.3	-364	-13.7		
コーティング事業	19,165	39.5	20,139	37.7	+974	+5.1		

【各製品におけるセグメント別売上構成比のイメージ】



## 中国での塗装機器や設備の需要縮小も、欧州を筆頭にそのほかのセグメントでの塗装機器販売が売上を下支え

日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (塗装機器)3Qの一部スプレーガンの販売中止が下押し</li> <li>■ (塗装機器)ITツールの活用度を高めた物件管理の強化で環境装置の売上伸長</li> <li>■ (塗装設備)前期比で受注案件が少なかったことや次年度に計上となる案件が一部発生したことなどにより売上は減少</li> <li>■ (塗装設備)大型物件の有無による前期からの反動減</li> </ul>
欧州	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (塗装機器)自動車補修市場向け新型スプレーガンを主とした塗装機器の販売が好調に推移</li> </ul>
米州	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (塗装機器)工業塗装市場の開拓の奏功</li> <li>■ (塗装機器)エアブラシの売上回復は足踏み</li> <li>■ (塗装機器)自動車補修市場向け新型スプレーガンやホームセンター向け中級レンジスプレーガンなどの販売にも注力</li> </ul>
中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (塗装機器)景況感の回復が感じられず、年度を通じて売上の減少傾向</li> <li>■ (塗装設備)日系企業を中心として設備投資に回復感が感じられず、売上は減少</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ (塗装機器)工業塗装市場向けを主として売上が伸長</li> <li>■ (塗装機器)シェア拡大余地のあるインドをはじめ南アジアの開拓に着手</li> <li>■ (塗装設備)自動車部品や木工製品塗装向け設備の売上伸長</li> <li>■ (塗装設備)中国から東南アジア・インドなどへの最適な人員配置の実施</li> </ul>



## 業績の拡大や円安進行の影響により、資産が増加

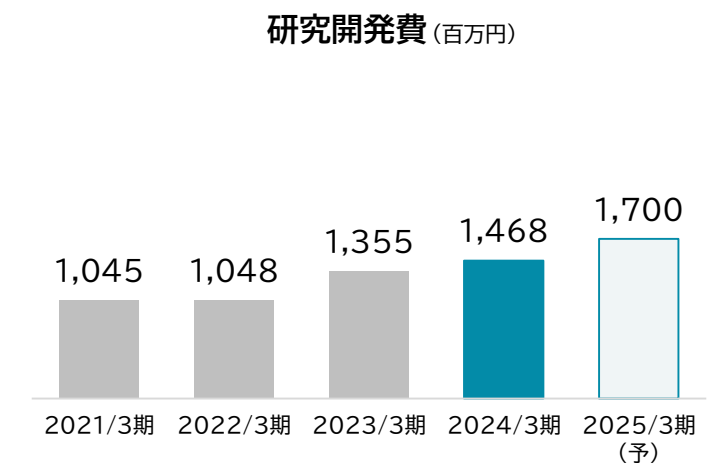
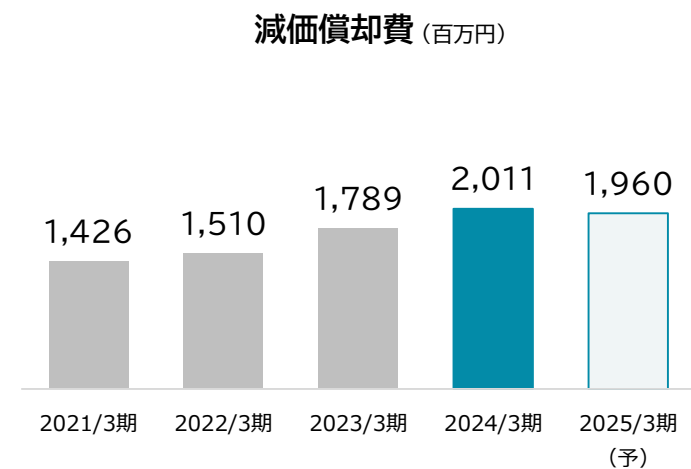
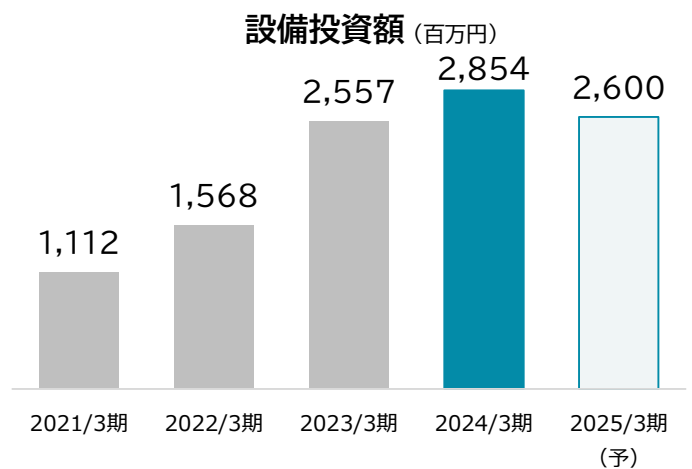
		2023年3月期	2024年3月期	対前期末差異		
		通期期末 実績 (百万円)	通期期末 実績 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
資産	流動資産	36,773	40,571	+3,798	+10.3	・「現金及び預金」の増加 +2,419百万円
	固定資産	23,363	25,573	+2,209	+9.5	・「建物及び構築物(純額)」の増加 +388百万円 ・「投資有価証券」の増加 +805百万円
	資産	60,136	66,144	+6,008	+10.0	
負債及び 資本	流動負債	11,719	12,789	+1,069	+9.1	・「支払手形及び買掛金」の増加 +330百万円
	固定負債	3,161	3,280	+119	+3.8	・「リース債務」の増加 +367百万円
	負債	14,881	16,069	+1,188	+8.0	
	株主資本	37,466	39,737	+2,271	+6.1	・「利益剰余金」の増加 +3,142百万円
	その他の包括利益 累計額	2,558	4,421	+1,862	+72.8	・「為替換算調整勘定」の増加 +1,173百万円
	非支配株主持分	5,229	5,915	+685	+13.1	
	純資産	45,255	50,074	+4,819	+10.6	
負債・純資産	60,136	66,144	+6,008	+10.0		

設備投資は、売上が拡大している圧縮機の製造（日本・インド工場）や塗装機器の製造（イタリア工場）に関する生産設備増強などのため、一部計画を前倒したことなどにより計画上振れ

- 2025年3月期は、好調を維持する欧州塗装機器の生産や中国圧縮機の輸出に関連する工場の設備投資を実施予定

(百万円)	2024年3月期 実績		
	設備投資額	減価償却費	研究開発費*
実績	2,854	2,011	1,468
計画	2,300	1,700	1,450
進捗率	124.1	118.3	101.3
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT関連投資(サーバクラウド化、税法改正への対応など)</li> <li>・建物の改修</li> <li>・生産ラインの更新・増強</li> <li>・各種工作機械等(新設・更新)</li> <li>・通信インフラ整備</li> </ul>		

(注)研究開発費:研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値



		2024年3月期(実績)	
		実績 (百万円)	構成比 (%)
売上高		53,425	100.0
エアエナジー	圧縮機	30,302	56.7
	真空機器	2,983	5.6
	小計	33,286	62.3
コーティング	塗装機器	17,851	33.4
	塗装設備	2,288	4.3
	小計	20,139	37.7
営業利益		6,176	11.6
エアエナジー		3,357	—
コーティング		2,818	—
経常利益		7,986	14.9
親会社帰属当期純利益		4,931	9.2
平均為替レート	円/米ドル	140.56 円	
	円/ユーロ	152.00 円	
	円/人民元	19.82 円	
設備投資額		2,854	—
減価償却費		2,011	—
研究開発費		1,468	—

2025年3月期(予想)			
目標値 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
58,000	—	+4,574	+8.6
—	—	—	—
—	—	—	—
35,600	61.4	+2,313	+7.0
—	—	—	—
—	—	—	—
22,400	38.6	+2,260	+11.2
6,800	11.7	+623	+10.1
3,685	—	+327	+9.7
3,115	—	+296	+10.5
7,800	13.4	-186	-2.3
4,950	8.5	+18	+0.4
145.00 円		4.44 円 円安	
156.33 円		4.33 円 円安	
19.95 円		0.13 円 円安	
2,600	—		
1,960	—		
1,700	—		

人件費や中期的な業績拡大に向けたコスト増が見込まれるも、海外収益の拡大が支出分をカバー

前提条件

- エネルギー・資源価格や物流コストをはじめ原材料価格や部材の仕入れ価格についても上昇を見込む
- 為替水準は円安基調の継続を想定
- 中国市況は緩やかな回復へ

2025年3月期 (百万円)	予想	前年同期比
売上高	58,000	+8.6%
-エアエナジー	35,600	+7.0%
-コーティング	22,400	+11.2%
営業利益	6,800	+10.1%
-エアエナジー	3,685	+9.7%
-コーティング	3,115	+10.5%
経常利益	7,800	-2.3%
当期利益	4,950	+0.4%

- 海外販売が全体売上を牽引
  - エアエナジー:中国SCR社の輸出やインド市場向け圧縮機販売の拡大
  - コーティング:米州での新型スプレーガンの発売による需要拡大、工業塗装の開拓
- 特に中国における設備投資意欲の回復は緩やかと見込む
- 売上原価率は2024年3月期と同水準を見込む
- すべてのエリアで人材投資を含めた人件費が増加
- 研究開発投資や設備投資、IT投資などの積極的な成長投資を継続(支払手数料の増加)
  - 用途は、開発環境の整備や生産設備の増強・更新、M&A検討及び新規事業開拓など
- 売上拡大による売上総利益増加により投資費用をカバー
- 為替差益の減少

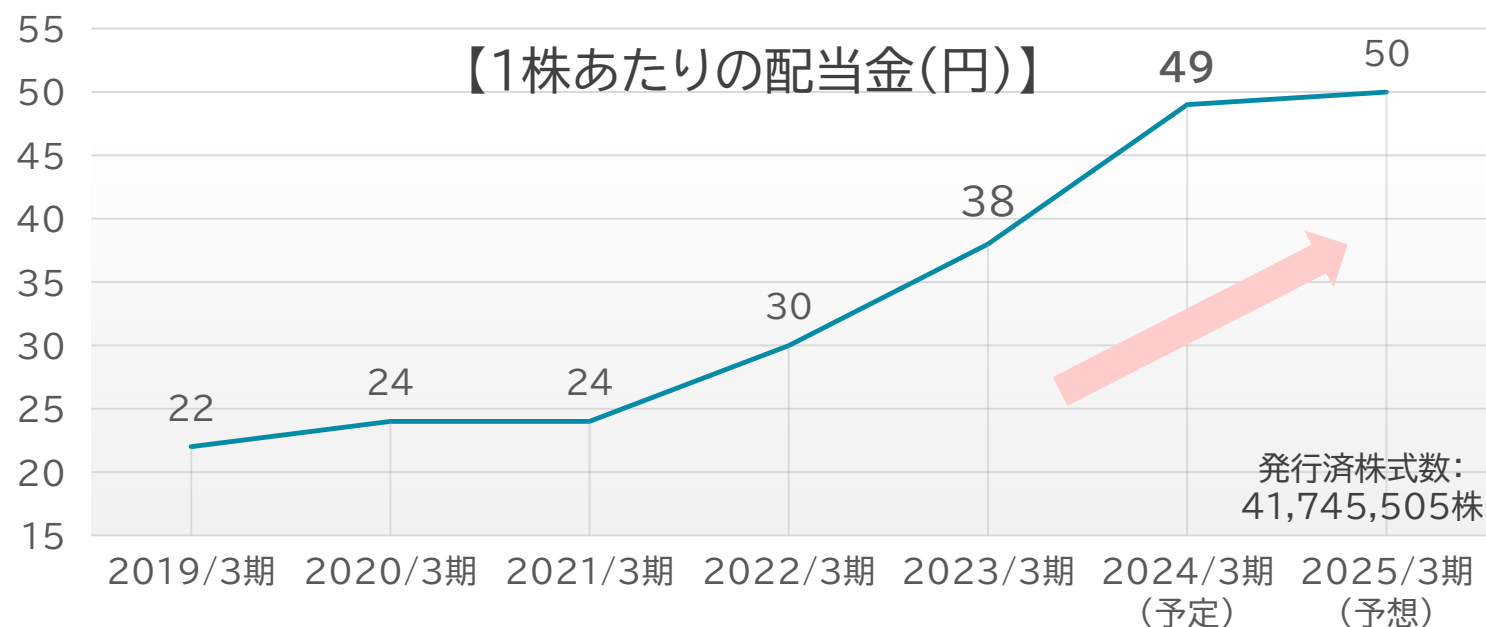
## 2024年3月期の年間配当は、業績が拡大したことで11円の増配を予定

## 配当方針

- 成長投資の為の内部留保確保と安定配当の両立
- 配当性向は40%を目安

配当額	中間(円)	期末(円)	年間(円)	配当性向(%)
2023年3月期 実績	16	22	38	35.1
2024年3月期 実績	22	27(予定)	49(予定)	40.1(予定)
2025年3月期 予想	22	28	50	40.4

※2024年3月期期末配当は6月25日の第78期定時株主総会で正式に決定する予定です。



## 自社株買い

- 現中期経営計画で予定していた1,500百万円を上限として、2024年1月から取得中

- 営業利益: 国内外の値上げ効果などにより売上原価率は低下した一方で、人件費の増加などにより販売管理費率は上昇
- 営業外収益: アメリカ関連会社の業績好調により持分法投資利益が増加(同+245百万円)、為替差益も増加(同+274百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率変化 (pts)
売上高	48,515	—	53,425	—	+4,910	+10.1	—
売上原価	27,178	56.0	28,950	54.2	+1,772	+6.5	-1.8
売上総利益	21,337	44.0	24,475	45.8	+3,138	+14.7	+1.8
販売管理費	15,498	31.9	18,299	34.3	+2,800	+18.1	+2.3
営業利益	5,838	12.0	6,176	11.6	+338	+5.8	-0.5
営業外収益	1,313	2.7	1,924	3.6	+611	+46.6	+0.9
営業外費用	108	0.2	114	0.2	+6	+6.4	-0.0
経常利益	7,043	14.5	7,986	14.9	+942	+13.4	+0.4
特別利益	65	0.1	24	0.0	-40	-62.3	-0.1
特別損失	17	0.0	23	0.0	+6	+34.9	+0.0
税金等調整前純利益	7,091	14.6	7,987	15.0	+895	+12.6	+0.3
法人税等	1,821	3.8	2,052	3.8	+230	+12.7	+0.1
非支配株主帰属純利益	887	1.8	1,003	1.9	+115	+13.0	+0.0
親会社株主帰属純利益	4,381	9.0	4,931	9.2	+549	+12.5	+0.2

# <参考情報> 2024年3月期 業積推移

## 【累計】

単位:百万円		2024年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		12,175	25,898	38,970	53,425
前年同期比		+21.8%	+14.5%	+11.9%	+10.1%
エアエナジー	圧縮機	6,798	14,522	22,438	30,302
	前年同期比	+21.7%	+15.4%	+13.8%	+12.3%
	真空機器	745	1,445	2,215	2,983
	前年同期比	+43.9%	+29.6%	+26.5%	+26.1%
	売上高	7,543	15,967	24,653	33,286
前年同期比	+23.6%	+16.5%	+14.9%	+13.4%	
コーティング	塗装機器	4,281	8,755	12,905	17,851
	前年同期比	+14.9%	+8.7%	+6.1%	+8.1%
	塗装設備	350	1,175	1,411	2,288
	前年同期比	+105.1%	+37.2%	+16.6%	-13.7%
	売上高	4,632	9,930	14,316	20,139
前年同期比	+18.9%	+11.4%	+7.1%	+5.1%	
営業利益		1,269	2,866	4,494	6,176
前年同期比		+54.7%	+22.5%	+9.2%	+5.8%
エアエナジー	営業利益	626	1,413	2,544	3,357
	前年同期比	+24.0%	+6.2%	+6.3%	+2.7%
コーティング	営業利益	643	1,452	1,950	2,818
	前年同期比	+104.0%	+43.9%	+13.3%	+9.7%

## 【3か月ごと】

単位:百万円		2024年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高		12,175	13,722	13,072	14,455
前年同期比		+21.8%	+8.8%	+7.0%	+5.6%
エアエナジー	圧縮機	6,798	7,724	7,915	7,864
	前年同期比	+21.7%	+10.3%	+11.1%	+8.2%
	真空機器	745	699	770	768
	前年同期比	+43.9%	+17.2%	+21.1%	+25.0%
	売上高	7,543	8,424	8,686	8,632
前年同期比	+23.6%	+10.8%	+11.9%	+9.5%	
コーティング	塗装機器	4,281	4,473	4,149	4,946
	前年同期比	+14.9%	+3.3%	+1.2%	+13.6%
	塗装設備	350	824	236	876
	前年同期比	+105.1%	+20.3%	-33.3%	-39.2%
	売上高	4,632	5,297	4,386	5,822
前年同期比	+18.9%	+5.7%	-1.6%	+0.5%	
営業利益		1,269	1,596	1,628	1,681
前年同期比		+54.7%	+5.0%	-8.2%	-2.4%
エアエナジー	営業利益	626	787	1,130	813
	前年同期比	+24.0%	-4.6%	+6.4%	-7.1%
コーティング	営業利益	643	808	497	868
	前年同期比	+104.0%	+16.6%	-30.0%	+2.4%

## 塗装用スプレーガンとそれを検査するコンプレッサの製造から出発

1926年創業  
(旧社名:岩田製作所)

製品の差別化を  
可能にしたコンセプト

・環境対応  
・塗面作成の提案力



塗装ロボット エアブラシ

製品の多様化  
用途の開拓

・オイルフリー化  
・省エネ性



オイルフリースクロール型真空ポンプ オイルフリースクロール型圧縮機

米国社製を手本に  
スプレーガンの製造を開始

スプレーガン

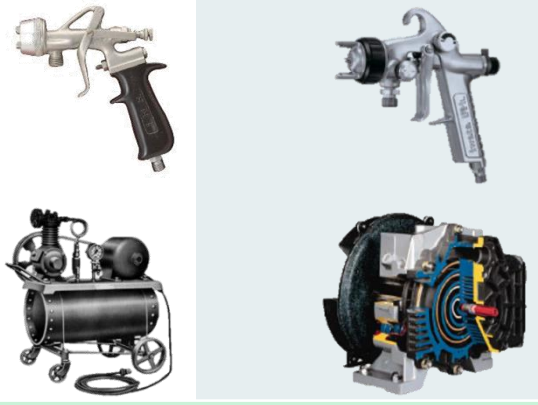
塗装用ハンドガン

圧縮空気で  
塗料を霧状に

空気圧縮機

コンプレッサ

スプレーガンの検査用  
圧縮機として製造開始



コーティング事業  
エアエナジー事業

**塗装機器** 塗料等の液体を霧状にする工具、または液体を搬送する機械  
スプレーガン、塗料供給ポンプなどの機器単体

**塗装設備** 塗装の前後工程を一連の流れとした設備  
塗装機器と塗装ロボット、換気や乾燥装置等を組み合わせたシステム

**圧縮機** 空気を主とした気体を圧縮する機械  
空気圧縮機、N2ガス発生装置、タンクなどの補器類

**真空機器** 気体を吸引して減圧し、真空状態をつくる機械  
真空ポンプ、バルブなどの補器類



## 将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問合せ先: アネスト岩田株式会社  
経営企画部 IR・コーポレートコミュニケーション室  
TEL: 045-591-9344  
E-mail: ir\_koho@anest-iwata.co.jp  
URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp>